

教員と大学院生のための 授業実践セミナー

◆日時

2009年9月10日（木）15～17時

◆場所

大阪大学人間科学研究科 本館12講義室

◆講師

辻 大介（大阪大学大学院人間科学研究科 准教授）

◆対象

教員および大学院生

昨今では、常勤教員の公募に際して、シラバスや授業計画の提出、面接においては模擬授業が求められることが多くなっている。しかし、多く教員や大学院生は、授業法についてのセミナーを受講したり、授業研究の観点から授業を見学する機会を、ほとんど持たないのではないだろうか。

本セミナーでは、授業（講義）の実演を交えながら、下記のような疑問に応答していく。もちろん、どれも唯一の正解などありえない。受講者にも自分なりの応答を、できる範囲でかまわないので、考えておいてもらいたい。当日は、講師が実際に授業で用いたプリントやシラバス等のサンプルも配布する。

- (1) シラバスを作るときに気をつけることは？
- (2) 教科書は使ったほうがよい？ どう使う？
- (3) 授業一回分の分量はどのくらいにすれば？
- (4) 講義ノートはどう作る？
- (5) 講義の準備はどれくらい時間をかければよい？
- (6) オリエンテーション（初回の授業）で学生に伝えておいたほうがよいことは？
- (7) 板書がよいか、パワーポイントがよいか？ 気をつけるべきことは？
- (8) 出席はとったほうがよい？ どうとればよい？
- (9) 講義を一方通行にしない（学生の参加意識をうながす）ためには？
- (10) メディア（映像や映画）を取り入れるときの工夫・注意点は？
- (11) 学生を注意する（私語等）ときに気をつけることは？
- (12) 授業評価アンケートはどう活用する？
- (13) 「この勉強って社会に出てから何か役に立つんですか」？
- (14) ゼミのやりかたは？
- (15) 公募先からシラバスと模擬授業を求められたとき、何に注意すればよい？

参加申込みは不要です。セミナー当日会場へお越しください。

本セミナーは、FDの一環として、人間科学研究科教育改革検討チームと組織的な大学院教育改革推進プログラムが共同で行うものです。